

もう一つ言うと、この経験のおかげで、おやじとの関係も変わったからね。

【予見していたお父さんの病気】

「おやじとの関係も変わったって、どういうこと？」

いや～、小さいときから父親は、すごくコワい人だったですよ。いわゆる雷おやじ。

それが、人の身体見るようになって、雷おやじの身体も見るようになってから、ある時「このまま行ったら相当な病気になるよ」と分かり、忠告したのね。

無理が重なっていた、というのが身体触れてて分かったから。

ただ、まだその時はそこまで信頼がなかったから聞き流されてしまって…。

けれど、その後ちょっとして「網膜剥離」という失明にもつながる大変な病気になってしまった。

「えええ！もうまくはくり?!」

そう。病気になり手術してからは「やはり史朋先生の言うこと聞いておかなあかんあ」と、信頼を寄せてくれるようになった。あのコワかった雷おやじがね。



フィリピンの貧困家庭に無償で治療を施している
富田さん(緑シャツの女性)のクリニックに毎年訪問



元気で明るいフィリピンの子供たちと一緒にパチリ★

これは嬉しかったというかびっくりしたというか…。

怖いながらも身体に触れ続けて、信頼を得、関係性が変わり、こうして喜んでくれると、雷おやじの表情も穏やかになったように感じたね。

「なるほど、西村医師が患者さんとの関係を大事する医者、三分診療の先生と違って丁寧な診療をしている背景は、こういうお父さんとの体験もあったのね。信頼してくれて追っかけてくる患者さんも多いものね。」



うん。お医者さんキャリアもあるけれど、「身体を触って、整え、調子をよくしてあげるキャリア」の方が長いよ。

その人の体に触れて、本人さんにも実感してもらって、調子よく動ける人が増えたら、とてもうれしいです。

将来的にはこういう笑顔で軽々動ける方が増えていくイメージを膨らましていきたいですね。

「ふむふむ、良いお話でした。

ところで、思い出したんだけど、産婦人科の先生ですよ？」

ああ、もちろんそうです爆笑

つづきは12月号で…